

令和4年度 入学式式辞

新たな生命が随所で躍動しています。並木の公孫樹も今まさに芽吹き、傍らには色とりどりの花が咲いています。華やかな出発を祝うこの佳き日に、保護者の皆様の御臨席を賜り、令和四年度 第七十七回入学式を挙行できますこと大変嬉しく思っております。

314名の新入生の皆さん、おめでとうございます。皆さんのこれまでの努力に敬意を表し、教職員一同ご入学を心から歓迎いたします。保護者の皆様、お子様のご入学を心よりお祝い申し上げます。

新入生の皆さん、皆さんは、第七十七期入学生です。七十七は人生の節目に例えると「喜寿」、喜びの歳です。喜ぶという字が草書体で七十七のように書くことからそう言われています。喜びの歳の入学生、いつも喜んでいられるような豊多摩ライフを満喫していただきたい。そのためには、本校の「自主・自律」と「文武両道」という校是の持つ意味とともに一人一人が深くお考えいただきたいと思えます。この春から成人年齢も引き下げられ、皆さんには大人としての自覚と行動を期待しますが、私は「自主・自律」の根底にある責任を強調したいと考えています。

さて、私たちはこの二年間、眼に見えないウイルスによる世界的な危機を経験し、人類も万物の霊長などと傲慢なことを言っていられないことを実感しています。そして、あろうことか、人の傲慢や虚栄心が世界の平和を乱し、無数の人を傷つけていることをいやというほど見聞きしています。科学や医療が進歩した現代にあっても、100年前のパンデミックへの対応を超えることができず、何度戦争でつらい思いをしてもまた繰り返してしまう人の愚かさを痛感しています。私たちは、自然に対して、世界に対して、謙虚に向かい合わなければいけないということをしっかりと認識する必要があります。

新入生の皆さんは本校で真摯に学んでください。本校での取り組みが実を結び、皆さんの中から、地球上の感染症や癌などの難病を撲滅できる科学者が、パンデミックでも経済危機に陥らないようなシステムを構築できる経済学者が、そして世界の平和を実現させることができるリーダーが、現われてくれることを切に願っています。

豊多摩高校は、東京都でも有数の伝統校のひとつですが、あえてお話ししておきたいことは、伝統にこだわってばかりいる必要はない。常に満足せず、変化を

恐れず、チャレンジしていただきたいということです。John F. Kennedy は、「変化とは人生の法則である。過去と現在しか見ない人は、確実に未来を見失う。」と言っています。

皆さんには、ここ豊多摩高校で、成長という名の変化を期待しています。遠慮することなく、自分の力はこのくらいだろうと限界を決めることなく、伸びやかに、おおらかに、勇気を持って、自分の世界で、頂点を極めてほしい。それが、Touch the Sky に込めた想いです。季節ごとに、晴れた並木道から見る空を感じていただけたら嬉しいです。

新型コロナの感染拡大によって、この二年間多くの学校行事が形を変えたり、中止となったりしてきました。上級生も学校行事を経験していません。パンデミックは確実に私たちの生活スタイルを変えました。学校の価値も変わろうとしています。新たな教育課程が始まります。教科書も変わり、本校では7時間目の授業も行われることとなります。

近い将来、きっとやってくるであろう、ポストコロナの時代に向けて、学校もチャレンジしていかなければなりません。過去にばかり拘っていても、学校は活力を失います。新しい豊多摩をともに築いていきたい。そのためにみなさん一人一人の力を貸してください。部活動や学校行事に、そして学習活動に、精いっぱいのお力をお願いします。それが、高校生としての皆さんの責任だとお考えいただきたい。

保護者の皆様、高校生活は、責任ある大人として、自立していく重要な過程です。常に温かく、時に厳しく見守っていただきますようお願いいたします。本校教職員も、全力を尽くします。今、私は未来を担う人材育成という崇高な使命に身が引き締まる思いです。入学生の皆さんの限りない可能性を祝し、また本校の教育活動にご理解とご協力を賜りますようお願いして、式辞といたします。大きな達成感をもって、三年後の卒業式を全員で迎えましょう。

豊多摩へようこそ！

令和4年4月7日

東京都立豊多摩高等学校長

枡倉 和則